



つねお 慶野 常夫 議員(政友みらい)

公用車について



環境に優しく災害に強い持続可能なまちづくりを推進していくために、電気自動車の普及を推進してほしいと思うが、考えと具体的な取組について伺いたい。

総合政策部長

今日、世界各地で地球温暖化防止のための取組が推進されていますが、本市も第4次佐野市役所地球温暖化対策実行計画の中で、低燃費車、低公害車の積極的な導入を掲げていますので、今後、計画的に電気自動車の普及に取り組んでいきたいと考えています。

電気自動車普及の今後の取組ですが、財産活用課が所管している集中管理車の車両の変更時期が来ますので、その車両の変更時期に合わせ、更新台数の一定数、1割程度を目標に電気自動車の入替えを順次行っていくと考えています。

その他の質問

- ☆電気自動車を活用した災害対応力強化について
- ☆羽田工業団地の民間企業との災害協定に向けた取り組みについて
- ☆新型コロナウイルスについて



さわだ 澤田 裕之 議員(蒼生会)

小中学生の学校生活について



葛生義務教育学校の開校に際して、特色ある教育についてどのような点を特徴とするか、現時点での考えを伺いたい。

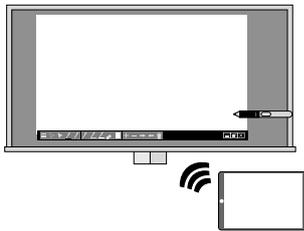
教育長

1つ目の特徴としては、小中一貫教育の核となる新教科、くずう未来科の設定です。ふるさとを学習材とした探究的な学習を取り入れることで、課題の解決に必要な資質・能力、またふるさとを大切にする心の育成を目指しています。

2つ目の特徴として、ICTを生かした学習の推進です。ICTの特徴を生かした学習環境を整え、教員がICTの活用を積極的に図ることにより、変化の激しい21世紀を生きる児童生徒に求められる、情報活用能力等の資質、能力を育むとともに、学力向上を目指します。

その他の質問

- ☆中山間地域対策について



たかはし 高橋 功 議員(蒼生会)

脱炭素社会・循環型社会の実現について



※ゼロカーボンシティの宣言について、ゼロカーボンシティであることを表明するためには、どのような手順を踏む必要があるのか伺いたい。また、本市がゼロカーボンシティの宣言を行う時期についても伺いたい。

市民生活部長

ゼロカーボンシティ宣言の手順については、特に定めがあるわけではありません。ほかの自治体では、記者会見や環境に関するイベント等で、市長等による表明事例が多いようですので、本市においても、同様の方法により表明することを考えています。

市長

ゼロカーボンシティの宣言については、令和4年度の上半期中に表明したいと考えています。

その他の質問

- ☆葛生義務教育学校の開校に向けて

※ゼロカーボンシティとは・・・2050年にCO2(二酸化炭素)を実質ゼロにすることを旨を首長自らが又は地方自治体として公表された地方自治体(環境省による定義)